

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

	記入日 2018年 3月17日
派遣プログラム	HUSA
留学先大学	テュービンゲン大学 大学 (国名:ドイツ)
所属学部・学科等名	German Studies
在籍身分	交換留学生
留学期間	2017年 9月13日～2018年 2月16日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	ドイツに行って、ドイツ語が話されている現場を見てみたかった。南ドイツなら冬の寒さもそれほど厳しくないだろうと思った。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募の直前に始めた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	留学を考えてのことではなかったが、2年の夏にドイツ語検定を受けておいてよかった。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ
	ビザ申請先: Bürgeramt
	提出書類: 寮の賃貸契約書、入学許可証、留学中に保険に入っていることを証明した紙
	手続きに要した日数: 1か月
その他必要な事前手続き	寮の申し込み等
出国年月日	2017年 9月13日
経路(往路)	関西国際空港→フランクフルト空港→シュトゥットガルト空港
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有(大学関係者・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間: 3週間 内容: ビザ申請、履修登録のやり方等) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年 2月17日
経路(復路)	シュトゥットガルト空港→フランクフルト空港→羽田空港→伊丹空港

## 3. 留学費用について

支出額	総額	616340	円	
	内訳	渡航費（往復）	200000	円
		ビザ申請手数料	6500	円
		予防接種費用	0	円
		保険料	50000	円
		教材費（授業料以外の学費）	2340	円
		宿舍費（住居費）	218400	円
		光熱費	0	円
		食費	124800	円
		通信費（インターネット・携帯）	0	円
		交通費（宿舍－大学間）	11700	円
		交際費	2600	円
		その他（ 費）		円
（ 費）		円		
（ 費）		円		

## 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	1回の授業は90分である。ゼミでは学生の積極的な発言が求められる。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	ドイツ語の授業について言えば、授業で出て来た分からない単語をノートにまとめて覚えるようにした。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など）	ドイツの大学の授業は先生が説明するだけではなく、学生が質問するなど発言することが望ましいとされている。グループワークが重要とされるのも自宅学習ではできないことであるからだ。

## 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（            ）		
住居の広さ	約            13 m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有（            人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（            ）		
住居費	1ヶ月当たり    280 ユーロ		約 36400 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	自分の郵便受けはチェックしておく。学生証や銀行のキャッシュカードは郵便で送られてくる。		

(2) 医療について	
保険の加入先	■本学指定の保険    □留学先大学指定の保険    □その他 (                      )
保険の補償内容	補償額 死亡 一千万円、 入院 1 日                      円 その他 (                      )
留学前後での予防接種の必要の有無	□有 (種類:                      回数:                      医療機関名:                      ) ■無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院には行かなかった。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	ビタミンCのサプリメントを飲んでいました。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
幸い危険な目に遭うことはなかった。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
食べる量が少ないと元気が出ないので、よく食べることが大切。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
ドイツの冬は寒いけれど、ダウンジャケットを着ていけば暖かく過ごせる。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
図書館で自習することができるが、試験前はほぼ満席状態になり、自習しようと思っても席が見つからないことがある。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
ゼミ形式の授業を取っていれば、グループワークのときにドイツ人学生と話す機会がある。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
まどろっこしい言い方をすると、「それはどういう意味?」とか「どうしたいの?」と言われる。ストレートな言い方をした方が話はスムーズに進む。	

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの 変換プラグ (C タイプ)、クレジットカードは持っていくべき。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス 海外でSIM カードを使うなら、SIM ロック解除の手続きをしておく必要がある。

<b>6. 帰国後の進路について</b>	
卒業予定年月	2019年 3月 (当初の卒業予定年月 2019年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院への進学を希望している。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前になるべく多く単位を取るようにした。

<b>7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
地球の歩き方 ドイツ	ダイヤモンド社	旅行に行くときに参考にした。

<b>8. 後輩へのメッセージ</b>
留学先で親しくなった人とは連絡先を交換しておくとい。Whatsapp をインストールしておけば、たぶんスムーズにいく。Facebook をやっているか聞かれることもある。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

### 学習の概要に関するレポート

チュービンゲン大学では、留学生向けにドイツ語の授業が開講されている。私の受けた授業では、教室に4つのテーブルがあって、同じテーブルの傍の椅子に座った人達で話す練習やテキストの問題に取り組んだりした。先生の講義と学生のグループワークが交互に行われた。先生はドイツ語を話して授業をした。全てを聴き取るのは難しかったが、7割くらいは聴き取れて、授業にはついていけた。ドイツ語の授業では、日本人学生にも出会った。チュービンゲン大学には交換留学生として日本人学生が来ていて、正確な数は知らないが、10人から20人くらいはいたと思う。どの席に座るかは自由だから、私は日本人学生と同じグループになるように座っていた。他のグループを見てみると、中国人が多いグループや韓国人が多いグループが出来ていた。同じ国から来た人が複数いるとそのようになりやすい。

ドイツでドイツ語を勉強していると、日本で気づかなかったことにも気づく。ドイツにいと、ドイツ語で話す機会も多い。話している途中で名詞の性が分からず、自信を持って話せないということがあった。それで名詞の性を覚えるようにしてみた。すると、ドイツ語の文章を読んでいて、知っている名詞に出会ったときに、「この名詞は男性名詞だ」とか分かっているから、「前の定冠詞が男性名詞の前に来る形をしているな」と思って読み進めることができた。知っている情報が多いから、読み間違えも少なくなる。今まで私は名詞の性をほとんど覚えてこなかったが、これを機会に覚えていこうと思った。先に書いたように、読解にも役立つから、名詞の性を覚えることは有益である。ところで、ドイツ語の先生がある名詞の性をクラス全体に質問したことがあった。結果は興味深いもので、男性、中性、女性と全ての性が回答に出たのである。私と同様、他の学生も名詞の性を覚えることを軽視していたみたいだ。

交換留学生が専門の講義を受けることももちろんできる。私もドイツ文学と日本学の講義を受けていた。日本学の講義では、英語の論文を読んでもらうことが宿題だった。メールで宿題の範囲が知らされるのだが、最初はそれを知らずに出席していた。知ってからも、宿題のページ数が多くて、宿題を終えることができなかった。ドイツの大学の授業についていくには英語の学力も必要である。ただし、ドイツ文学の授業ではほとんど英語は使わない。

ドイツ文学の授業はゼミではなく講義を受けた。この授業で必要だと思ったのはドイツ語のリスニング力と単語力である。私はどちらも不十分で授業にはついていけなかった。授業についていくには高いドイツ語の学力が必要である。大学院に普通に入学した留学生なら、このような授業の単位も取らなければならないのだろうが、私は交換留学生なのであまり無理はしなかった。

### 生活の概要に関するレポート

私はスタートコースを申し込んでいたので、9月にドイツへ行った。日本よりも気温は低くジャケットを着ていても肌寒かった。日本からコートは持って行っておらず、ドイツで買うつもりだった。旧市街にH&Mがあったから、そこで買った。日本のMサイズはヨーロッパではSサイズに相当する。9月だと午後8時ぐらいまで外は明るい。しかし、ドイツは高緯度に位置しているためだと思うが、日差しは弱い。11月、12月は日の入りが早く、午後4時ぐらいには外は薄暗くなってくる。日の出は午前8時ぐらいで、かなり遅い。2月に入ると、気温はまだ低い、日は長くなってくる。チュービンゲンには路線バスが運行していて、多くの人が通学にも使っている。夜12時ぐらいまで運行していて、便利である。バス停でバスを待っていると、知り合いに会うこともある。チュービンゲンは小さい町だから、本当によく知り合いに会った。だから、寂しいと思うことはそれほど無かった。

チュービンゲン大学の食堂は2つある。1つはヴィルヘルム通り沿いであって、大きい。もう1つは旧市街にあって、小さいが、営業時間が長く夕方5時まで開いている。味の方はいまひとつであるが、私は自炊をしなかったの、よく利用していた。飲み水に関して言うと私は水道水を汲んで飲んでた。ドイツ人の先生が「私は水道水を飲んでいる」と言っていた。それを聞いて安心して飲んでた。ドイツ人学生がペットボトルに水道水を汲んでいるのもよく見かけた。ドイツのスーパーにはお弁当やお惣菜は売ってなかった。料理をしない私は、冷凍食品や缶詰・パンを買って食べていた。冷蔵庫は共用で、食べ物が沢山入っていたので、自分が買ってきた物を入れるスペースが無かった。レストランで食事をすると、二千円くらいかかる。ドイツに着いてからしばらくはレストランに行っていた。けれども、学生はレストランに行かないと知ってからはあまり行かなくなった。

寮にはベッドと机と椅子ぐらいしか物が置かれていない。LAN ケーブルは有ったが、Wi-Fi ルーターは無かった。

Wi-Fi ルーターは SATURN という家電量販店に行けば、売っている。価格は 20 ユーロ弱だった。テュービンゲンの家電量販店は一軒しかないみたいで、ここで買うことになる。洗濯機は共用で、私の寮では地下一階に一台あった。私は部屋干ししていたが、乾燥機も置かれている。料金は硬貨を投入するのではなく、チャージした学生証で払うようになっていた。1回 1.5 ユーロで、コインランドリーよりは安かった。洗剤は自分で買って用意する必要がある。寮の部屋の照明は光量が十分ではなかった。他の人はどうしているか気になって外から見てみたが、暗くても照明を買い足したりはしていなかったようだ。ドイツ人は室内が薄暗くても気にならないみたいだ。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。